

平成30年度 事業計画書

新潟コンベンションセンター指定管理者

新潟万代島総合企画株式会社

平成30年度の事業計画について

〈平成30年度における基本的な考え方〉

平成30年度は、新潟コンベンションセンター、万代島駐車場、万代島緑地の5年間の現指定管理の指定を受けてから3年が経過し、いよいよ指定管理期間の後半に突入する。

そのような中、今期の営業活動は、次期指定管理期間となる平成32年度以降の学会、大会、会議を中心に首都圏セールスや県内大学への訪問活動を展開するとともに、中小規模の催事を丹念に拾い上げ、今年度の稼働率達成を目指す。

また、今年は新潟開港150周年にあたり、新規の自主企画事業の企画立案や万代島駐車場の利活用などを通じて港湾区域を立地する万代島地区の賑わい創出に努める。

〈基本方針〉

当社は、公募時に提案したコンセプトである「朱鷺メッセの価値を高め、新潟の発展に尽くす」を実現すべく、次に掲げる基本方針の下、全力を挙げて本年度における施設の管理運営に取り組む。

1 「新潟経済活性化の手段」としての朱鷺メッセ

新潟経済活性化と新潟の知名度向上のため、朱鷺メッセに相応しいMICEの誘致や自主企画事業を積極的に展開する。

2 「新潟のシンボルゾーン」としての朱鷺メッセ

新潟日報メディアシップ、万代シティ等と連携して、信濃川に面した豊かなウォーターフロント空間を活かした憩いと安らぎの場を提供し、多くの人々が交流する新潟のシンボルゾーンを形成する。

3 「安全安心で快適な利用空間」としての朱鷺メッセ

10年余の管理運営で得たノウハウを十分に活かして、施設の維持保全と安全対策に万全を期す。

また、主催者、来場者に高い満足感と地球環境に優しいサービスを提供する。

I 新潟コンベンションセンターの管理運営について

1 施設の利活用

(1) 目標稼働率

平成30年度の展示ホール、メインホール及び国際会議室の目標稼働率は、公募時に提案した次の数値とする。

区分	目標日数	稼働率
年間稼働可能日数	353	——
展示ホール	222	62%
メインホール	272	77%
国際会議室	218	61%
合計	712	67%

※年間稼働可能日数：(365日-休館日6日-臨時休館日6日)×3施設

(2) MICE誘致への取り組み

今期の営業活動の対象となる平成32年度以降の大規模催事は、次の3つを重要ターゲットとして取り組み、新潟経済活性化と新潟の知名度向上に貢献する。

① 経済波及効果の高いコンベンション

県外からの来場者の多い全国学会、全国大会の誘致を積極的に行う。

② 新潟の知名度・ステータス向上につながるコンベンション

政府間合会や国際会議の開催を県・市と協力して目指す。

③ 県民の多くが利用・参加できるコンベンション

新潟県を代表する施設として、県民に「元気と楽しさ」「感動と体験」を提供する交流参加型イベント、コンサート、そして産業の活性化を促す商品展示会等を誘致することで賑わいを創出する。

(3) 新潟のシンボルゾーンとしての賑わいの創出

① アクセスの改善

国、県及び新潟交通株式会社との1年間にわたる協議の末、平成30年3月31日のバスダイヤ改正において、新潟駅と万代島地区を結ぶ佐渡汽船線の便数を現行のほぼ倍とすることで合意した。

この増便に当たり、駐車場B2の一部をバス待機所として提供して「ピア Bandai 前」バス停留場を新設することにより、朱鷺メッセとピア Bandai をバス路線で接続する。

また、多目的広場を改修整備して駐車場Dを拡張し、駐車スペースを約100台増

加する。従来から、お客さまの要望の多いコンベンションセンターに近接した駐車スペースを拡充することにより、来場者の利便性向上を目指す。

これらにより開業以来の懸案であった公共交通機関の利便性の向上及び交通アクセスの改善を図り、万代島全体の賑わい創出に寄与する。

② 自主企画事業

県民が楽しめるコンテンツのイベントとして、夏休みに子供向けイベントをロングランで開催し、冬には様々な世代で楽しめる「フェスタ万代島」を開催することにより、朱鷺メッセへの集客力向上に努める。

③ 信濃川下流右岸連携事業及びその他の賑わい創出

今年度も前年度に引き続き、信濃川下流右岸に位置する「新潟日報メディアシップ」、「万代シテイ」、「NST」と連動したイベントを開催し、万代地区と一体で賑わいを創出する。

【信濃川下流右岸連携による催事（予定）】

時期	イベント名	内容
春	花フェスタ	チューリップの花絵展示
夏	七夕飾り	吹流しや短冊による七夕装飾
冬	クリスマス装飾	クリスマスを彩るイルミネーション装飾

【その他の賑わい創出（予定）】

時期	イベント名	内容
春～秋	フラワーベッド	
冬	クリスマスコンサート	万ビルとの共催事業
正月	書初め	高校生によるパフォーマンス

2 利用者に対するサービス

(1) ワンストップサービスの提供

利用者の多様なニーズに対して当社が一括して窓口となり、各種サービスをワンストップで提供することにより、利用者の利便性向上に努める。

(2) 多様な料金制度の設定

今年度も引き続き、多様な「特定料金」を設定して利用者のニーズに応える。

(3) 利用者ニーズの把握

各種アンケートなどの実施により、利用者の生の声を広く収集して業務品質の向上に努める。

(4) 開催告知の協力

朱鷺メッセのホームページや広報誌、当社が出稿する新聞・電波広告等の各種媒体を利用して開催告知に協力することにより、集客面における主催者の支援を行う。

3 安全・安心で効率的な施設の維持管理

(1) 維持保全計画による施設の維持管理

利用者に対し、安全で快適な環境を提供するため、「新潟コンベンションセンター等維持保全計画（平成25年9月改定）」を適宜見直し、計画に基づく安全安心で効率的な施設の維持管理を行う。

(2) お客様の安全を第一とする施設の管理運営の実現

お客様の安全を第一に考え、火災、災害、事故などに対するマニュアル整備や訓練を行うとともに、これらの予防に対する主催者への支援を行う。

(3) 外部識者による技術評価

施設建築物等の維持保全業務が維持保全計画に沿って行われているかどうかを毎年度、外部委員からなる技術評価委員会から評価を受け、その結果を県に報告する。

また、技術評価委員会からは、環境や省エネ面など新たなテーマについて適宜助言を得て、今後の業務に反映させる。

【技術評価委員会の構成】（平成30年3月31日現在）

委員長：新潟大学教授	西村 伸也 氏
委員：新潟工科大学名誉教授	地濃 茂雄 氏
委員：新潟県設備設計事務所協会監事	木村日出男 氏

4 地球環境への取り組み

(1) 地球環境にやさしい施設づくり

当社はISO14001に基づき、「地球環境にやさしい施設づくり」を基本理念として地球環境の保全を事業活動の重要な柱の1つとして捉え、全社をあげて取り組む。

(2) 環境情報の発信

ホームページでの発信のほか、自主企画事業や館内装飾において環境教育・啓発活動に努める。

(3) 環境意識の向上

環境意識の向上を図るため、夏期に当社で作成する「うちわ」の配布をするほか部材のリサイクルやごみの分別などについても利用者に積極的に働きかける。

II 万代島駐車場の管理運営について

1 駐車場の利活用

1 MICE 開催をサポートする運営

(1) コンベンションセンター至近の駐車スペースの増加

多目的広場を改修整備して駐車場Dを拡張し、駐車場Dの駐車スペースを約100台増加する。コンベンションセンターに近接した駐車スペースを増やすことは来場者からの要望も多く、この拡張により来場者の利便性向上を目指す。

(2) 駐車場B2の一部（以後「ひょうたん駐車場」）の活用

コンベンションセンターから離れているため、利用頻度の低いひょうたん駐車場をバス待機所として提供することによりバスの便数を概ね現在の倍とし、公共交通機関による万代島地区へのアクセス向上を図る。

また、ひょうたん駐車場に「ピア Bandai 前」バス停留場を新設することにより、朱鷺メッセとピア Bandai をバス路線で接続する。これにより万代島地区内の周遊性を確保し、万代島全体の賑わい創出に寄与する。

(3) 大型催事開催時における駐車場の円滑な運営

大規模催事開催時には、多種多様な利用者の集中的な入出庫に対応してきたノウハウを活かして「安全」を最優先とした運営を行う。

2 多様なニーズに応じた運営

(1) MICE 利用者ニーズの把握

MICE 誘致を推進するため、利用者懇談会や各種アンケートで主催者や来場者のニーズを把握して利便性の向上に努める。

(2) 万代地区利用者への対応

ホテル、オフィス、美術館、佐渡汽船など利用者はもとより、万代地区利用者にも利用して頂けるよう柔軟に対応する。

3 安全安心を最優先とする駐車場管理

(1) 24 時間体制の常駐警備

巡回やモニター監視による24時間体制の警備を徹底し、事故等の未然防止に取り組む。

(2) 防災・防火訓練の実施

立体駐車場における防災・防火訓練やエレベーターの救出訓練を通じ、駐車場利用者の安全確保に努める。

(3) 大規模催事開催時における安全誘導

大規模催事開催時においては、警備員を増員配置し、駐車場内外の安全と円滑な交通確保に努める。

(4) 立地特性を踏まえた管理

立体駐車場は塩害対策、緑地の多い平面駐車場は緑豊かなグレードの高い植栽管理など、ポイントを押さえた効果的な維持管理を実施する。

4 駐車場利用者増に向けた取り組み

(1) 催事来場者による利用増

大規模催事の開催増を図り、これに伴う駐車場利用者の増加を目指す。

(2) 佐渡汽船利用客へのPR

佐渡航路利用者に対する低額料金を佐渡汽船株式会社のホームページなどにも掲載していただき、万代島駐車場のPRに努める。

(3) 定期券利用者の確保

時間貸利用とのバランスを図りながら万代島地区及びその周辺地区住民や事業所に対する定期券利用を推進する。

(4) 万代地区利用者

万代地区の事業者との共同イベント開催など万代島地区との回遊性を高めることにより、駐車場の利用促進を図る。

5 来場者利便設備等の設置について

(1) 誘導サイン

駐車場内外における誘導サインの見直しを適宜行い、利便性の向上に努める。

(2) 飲料自動販売機

利用者の利便性向上を図るとともに街灯として防犯機能を発揮する飲料自動販売機をA・B2・C・D・Eの各駐車場に設置する。

Ⅲ 新潟港万代島緑地の管理運営について

1 万代地区との回遊性創出

(1) 一体感のある動線整備

万代地区から朱鷺メッセまでの歩道上にフラワーハンギングバスケットを設置するなどして一体感のある動線を演出する。

(2) 共同イベントの実施

万代シティやメディアシップなどと共同でイベントを実施して、万代地区との回遊性を創出することに努める。

2 シンボルゾーンの形成

(1) 緑地単体としての魅力向上

リバーフロントパークに平成28年度から試験的に運用しているフラワーベッドは、今年度も引き続き設置して、花木の種類や栽培方法を検討する。

(2) 憩いと安らぎの提供

緑地が県民の憩いと安らぎの場となるよう植栽、芝生の管理を仕様書に基づいて適切に実施する。

3 安全安心な管理

(1) 巡回警備による犯罪の未然防止

利用者が安心してご利用できるよう、警備員による巡回を実施するなど犯罪や事故のない緑地管理を推進する。

(2) 環境に配慮した植栽管理

土壌の環境保全や樹木の健全な育成に配慮した管理を実施する。

平成30年度 収支計画

(収入)

単位:千円 税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料金収入	465,101	296,732	0	761,833
2 自主企画事業収入	3,548	0	0	3,548
3 指定管理料収入	16,200	33,000	800	50,000
4 その他収入	43,429	1,083	0	44,512
収入計 A	528,278	330,815	800	859,893

(支出)

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	137,839	19,144	6,318	163,301
2 事業費	79,377	9,351	780	89,508
3 維持管理費	390,044	104,815	17,850	512,709
4 運営事務費	45,053	4,355	855	50,263
支出計 B	652,313	137,665	25,803	815,781

収支 C(A-B)	▲ 124,035	193,150	▲ 25,003	44,112
-----------	-----------	---------	----------	--------

※センター利用料金収入には自社取引を含んだ額となります。

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込の額となります。

平成30年度 収支計画(内訳)

(収入)

単位:千円 税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料金収入	465,101	296,732	0	761,833
2 自主企画事業収入	3,548	0	0	3,548
3 その他収入	43,429	1,083	0	44,512
収入計 A	512,078	297,815	0	809,893

(支出)

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	137,839	19,144	6,318	163,301
2 事業費	79,377	9,351	780	89,508
自主企画事業	34,488	0	756	35,244
誘致広報業務	15,788	105	24	15,917
新潟県納付金	0	9,035	0	9,035
その他事業費	29,102	211	0	29,313
3 維持管理費	390,044	104,815	17,850	512,709
維持管理業務経費	349,435	71,815	17,050	438,300
計画的(中規模)修繕等経費	40,609	33,000	800	74,409
4 運営事務費	45,053	4,355	855	50,263
事業所税	13,473	0	0	13,473
その他運営事務費	31,580	4,355	855	36,790
支出計 B	652,313	137,665	25,803	815,781
指定管理料を除いた収支 C(A-B)	▲ 140,235	160,150	▲ 25,803	▲ 5,888
指定管理料 D	50,000			50,000
指定管理料を含めた収支 E(C+D)	▲ 90,235	160,150	▲ 25,803	44,112

※センター利用料金収入には自社取引を含んだ額となります。

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込の額となります。